

平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 4

取組名	紋別海岸防潮護岸工事及び工事のあり方の検討委員会
流域名	網走西部
森林管理署等	北海道森林管理局治山課、北見事務所、西紋別支署
実施日	平成23年度中
実施内容	<p>紋別市元紋別地区の防風保安林（紋別森林事務所1106林班）は、かつて農耕地の開拓等により未立木地となり、オホーツク海から吹きつける塩分を含んだ強風や飛砂による気象害などを緩和するため、昭和33年頃より森林の造成を行ってきたところです。しかし、昭和48年頃から海岸の侵食がはじまり、その後も土砂の流出や防風林帯の消失などが激しくなったことから、平成11年度より浸食対策としての紋別海岸防潮治山工事（計画区間2,200m）を行っています。</p> <p>しかし、既設防潮護岸が波浪等により大きな被災が続いている状況にあるため、工事のあり方の検討委員会を開催し、これまでの被災原因の分析やリスク評価を行い、追加対策の必要性について検討するとともに、今後の施設配置計画及び維持管理方法等を検討しています。</p>
反響等	工事のあり方の検討委員会において、追加対策の必要性や工事の施工方法等を検討しています。

参考資料

○施工前（波による浸食状況）



○大型クレーンによる防潮護岸工事

